

中国株ウィークリーレポート

2019/9/9

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	26,797.46	69.31	0.26	1.49	14.88	23,327.46
NASDAQ	8,103.07	-13.76	-0.17	1.76	22.12	6,635.28
日経225	21,199.57	113.63	0.54	2.39	5.92	20,014.77
上海総合	2,999.60	13.74	0.46	3.93	20.28	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,948.51	23.18	0.59	3.92	31.15	3,010.65
ハンセン	26,690.76	175.23	0.66	3.76	3.27	25,845.70
中国企業	10,430.67	46.53	0.45	3.45	3.02	10,124.75

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は 3.8%高と大幅反発、上海総合指数は 3.9%高

香港市場ではハンセン指数が週間で 3.8%高と反発した。週明けは米中相互の制裁関税発動や過激化する香港の抗議デモが重しとなったが、4日午後「香港行政長官が逃亡犯条例修正案の正式撤回を表明する」と報じられると混乱収束への期待感から急反発。ハンセン指数は一気に 26000 ポイント台を回復した。本土市場では上海総合指数が週間で 3.9%高と反発。中国政府が打ち出す景気対策や米中通商協議の進展に対する期待が強まり、上海総合指数は週明け 2 日から 5 連騰を記録した。

今週の展望: 香港市場は軟調な展開か、先週の急反発で利益確定売りも

香港市場は軟調な展開か。世界的な金融緩和の流れや米中通商協議の進展期待は相場の支援材料だが、先週の急反発を受けて利益確定売りが上値を抑えそうだ。米中通商問題を巡っては今週も米中高官の発言に敏感に反応する展開が見込まれるほか、収束の兆しが見えない香港の抗議デモも相場の不透明要因。抗議デモに米国が関与してきた場合には 10 月の米中協議中止といった事態もあり得る。一方、本土市場は預金準備率の引き下げや相次ぐ景気対策の発表を受けてしっかりの展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	40.25	18.73
2 万洲国際 (00288)	6.97	10.46
3 銀河娛樂 (00027)	53.00	7.72
4 舜宇光学科技 (02382)	116.40	7.08
5 創科実業 (00669)	57.90	6.83
6 中国神華能源 (01088)	16.32	6.53
7 碧桂園 (02007)	10.36	6.26
8 九龍倉置業地産 (01997)	44.90	5.77
9 テンセント (00700)	343.40	5.73
10 申洲国際集団 (02313)	112.40	5.54

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬 (01177)	11.42	-2.06
2 中国蒙牛乳業 (02319)	30.55	-1.77
3 長江インフラ (01038)	52.90	0.09
4 電能実業 (00006)	52.30	0.19
5 太古A (00019)	76.95	0.26
6 中電控股 (00002)	81.00	0.31
7 シベック (00386)	4.64	1.09
8 Link REIT (00823)	89.35	1.53
9 ファイ・モバイル (00941)	66.10	1.77
10 石業集団 (01093)	15.98	1.91

▼今週の期待材料

- ◆ 中国政府が相次いで景気対策を発表、経済指標が悪化すればさらなる刺激策の発表も
- ◆ 中国人民銀行が預金準備率の引き下げを発表、6日付で全銀行を対象に預金準備率を 0.5 ポイント引き下げ
- ◆ 米中閣僚級通商協議を 10 月にワシントンで開催、9 月中旬から実務者協議も開始

▼今週の懸念材料

- ◆ 香港で抗議デモが 3 カ月目に突入、逃亡犯条例改正案の正式撤回後も抗議デモが継続
- ◆ 中国の 8 月の貿易統計で輸出が前年同月比 1.0% 減少、市場予想 (2.0% 増) に反して伸び率がマイナスに
- ◆ 中国の金融緩和でさらなる資金流出の可能性も、資金流出が続けば相場の下押し要因に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 連日で自社株買いを実施、6日間で 8 営業日連続
- ☆ 遠洋集団 (03377) : 8 月の不動産販売額が 13% 増加、販売面積は 24% 増
- ☆ 雅居樂集団 (03383) : 8 月の不動産販売額が 66% 増加、販売面積は 78% 増
- ☆ 東方証券 (03958) : 8 月の営業収益が 4.1 倍に拡大、純利益は 5.3 倍
- ☆ 睿見教育国際 (06068) : 9 月新学期の入学者が前年比で 17% 増加
- ◇ 越秀地産 (00123) : 8 月の不動産販売額が 1% 増加、販売面積は 19% 増
- ★ 新鴻基地産 (00016) : 12 日に 19 年 6 月本決算を発表、市場予想は 34% 減益
- ★ 吉利汽車 (00175) : 8 月の新車販売台数が 19% 減、地域別では中国が 20% 減と苦戦
- ★ 中国ガス (00384) : 大株主の韓国 SK グループが保有株の一部を売却
- ★ BYD (01211) : 8 月の新車販売台数が 14% 減、新エネルギー車は 23% 減

▼今週の主なイベント

- 9 月 10 日 (火)
- 【中国】CPI、PPI (8 月)
- 9 月 13 日 (金)
- 【中国】中秋節で休場

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。